

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市南部地域療育センター保育所等訪問支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年11月11日	～	令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 14	(回答者数) 9	
○従業者評価実施期間	令和7年11月11日	～	令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 10	(回答者数) 10	
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月11日	～	令和7年12月12日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 12	(回答者数) 11	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月2日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心できる場、活動や相談の提供 専門的なアセスメントと個に沿った発達支援	療育センターの利用全般において、安心して相談、訓練指導や活動に利用参加していただけることを大切にし取り組んでいます。 アンケート結果から療育センター内での個別の支援についても良い評価いただきました。専門的なアセスメントを基にお子さんの発達支援に取り組んでいます。	今後も利用・活用しやすいセンターであるために、日々利用者の方のご意見を確認、共有する。専門職としての研修は継続的に実施。今年度、担当者全体の訪問状況の共有を行い、保育所等訪問支援事業の理解を深めた。引き続き、地域連携について職員全体で学び、資質向上を図っていきます。
2	訪問施設への具体的で取り組みやすい支援の提案	専門的なアセスメントを基に集団での保育の中で取り組める支援を提案。 訪問先の環境・状況に合わせた内容となるように、担当の保育士の方々と話し合い共有することを大切にしている。	訪問支援職員全体での情報共有の場を増やす。お子さんの過ごす環境についての知識を得て、理解を深めることを継続していきます。
3	地域との連携	当療育センターは開所当初より地域との連携を継続して行っており、地域との繋がりを大切にしています。お子さんが安心して過し、より発達が促される支援について今後も共有していきたいと考えています。	療育センターの取り組みについて理解して頂けるように年度ごとに実施している事業説明等継続的に行い、事業へのご理解をいただき、連携を深め、訪問以外の相談などの機会についても引き続きご案内していきたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問回数について	利用者の方、訪問施設のアンケートにもあるように、訪問回数の増加を希望する意見をいただきました。当センター内の職員配置として、保育所等訪問支援事業担当専従としての配置となっていない点が挙げられます。	訪問回数について増加を実現できるかの人的配置や人材育成について検討していきます。
2	情報提供(センター内の家族プログラム等の案内)について	療育センターのホームページ等の周知が不足していたと感じています。	利用者の方が利用しやすい情報提供について取り組んでいきます。ホームページ以外にも積極的に情報発信できる方法を検討していきます。 また分かりやすく、内容の振り返りを行いやすいように提供いたします。
3	保育所等訪問に特化した研修	各々専門職の研修は充実しているが保育所に特化したものはなく、今年度下半期前に訪問職員全体で訪問の振り返りや情報共有の場を設けました。を試みました。	今年度は昨年度の振り返りから、職員全体での訪問振り返りを実施し、疑問点や改善点を話し合うことが出来ました。今後は外部講師等、研修内容・方法について検討していきます。